広報 あいかわ

昭和57年1月19日　第284号　秋田県合川町　編集　総務課　電話　018678－2111

わたしたちの町

人　口（男）…4,639人
　　（女）…4,985人
合　　計……9,624人
12月中の転入……16人
　　転出……18人
世　帯　数…2,307世帯

（12月末日住民登録調べ）

広報は、毎月15日に発行を予定しています。中学校生徒会の委託により、各家庭に配布されますので、届かない場合は役場総務課にお知らせください。

広報へのニュースの提供や意見等もおまちしています。

おめでとう新成人

今日から新たな第一歩

雪のない新春に

今までにない新しい感覚の成人式にしたい＝川井・吉田靖浩さん。成人式を機会にこれからの抱負などを語り合いたい＝上杉・永井章子さん。「一人前」として社会的に認められるということが実感できる場＝上杉・永井久美子さん。後にも先にもない成人式＝下杉・後藤弘樹さん。一生に一度。良い思い出に＝上杉・土佐裕子さん。

県内のトップを切って、町成人式が四日、役場会議室で行なわれました。遠方から久しぶりにふるさとに帰った人たちは、雪のない正月風景にびっくり。花やいだ装いの中に、社会人としての厳しい自覚を語り合っていました。町長は「みんながふるさとに住める夢が実現しつつある。」とあいさつ。多くの励ましに対して沢藤定道さん（美栄）が「悔いのない人生を歩む」と力強い決意をのべました。

町成人式

大野台に国営農地開発事業

五十七年度調査開始を

十二月定例町議会は十二月十五日に開会。六氏が一般質問し幅広く質疑が行なわれました。答弁の中で町長は「大野台の農用地開発に国営事業を導入するため五十七年調査開始にむけて国に強く要望する。」と表明。地域全体の農業開発にも大きな波及効果を与えるものと期待されています。

国営農地開発事業は、五百ヘクタール以上の農地で畑作、園芸果樹など専業団地をつくる構想。当町、森吉町、鷹巣町の三町にまたがって用地、作目などの調査が行なわれることになります。国営事業の導入が決まると、事業費のほとんどは国費があてられ、必要に応じて貯蔵施設や流通施設もあわせて整備されるものです。

大野台地区の農業開発用地は千ヘクタール以上に及ぶといわれ、この事業の導入が待望されています。また水田再編をかかえる周辺農家にもメリットが大きいものと期待をよせられています。

その他、町長の行政報告、答弁の主な内容は次のとおりです。

誘致三社で百四十五名を雇用

五十六年の稲作は限度数量を二万五千俵も下廻っており、天災融資法による資金、農業共済金とあわせて、救農土木事業、町独自の融資と利子補助を行なうことにしています。また、完成した籾ガラ堆肥工場の活用などにより地力向上対策を強力にすすめます。

大野台工業団地の誘致企業では三社ですでに百四十五名を採用。昭和六十年度までには五百人、県の将来計画では二千人規模の計画がたてられています。

町内商工青年を中心に、商工業の振興策が検討されており、町としても協力する考えです。当面は〝町内消費〟を、町民に協力をお願いします。

五十七年度はぜひとも診療所を改築する考えで、引き続き、町民体育館の建設、合川中学校の改築をすすめる方針で、将来フィンランド村構想の中の冬期屋内競技場の建設にも期待しています。

今後とも、農業と他産業との調和をめざし、人口構成的にもバランスとれた町づくりをめざします。

可決された主な議案

○異常気象の被害者に対する町民税・国民健康保険税の減免

五十六年度の冷風害被害者に対して、その所得に応じて税金を軽減することにしました。

○人権擁護委員の推せん

人権擁護委員に工藤正三氏（上杉・六四歳）　藤島正夫氏（木戸石・六九歳）の両氏を再任推せんすることに同意しました。

○一般会計補正予算

一般会計予算に冷害救農事業賃金千百八十五万八千円など千三百三万五千円を追加し、総額は二十九億六千三百四十六万五千円になりました。

広大な大野台。国営の農業開発に大きな夢が広がる。

町長日記から

私の年末年始は想像以上に多忙である。

私は自筆の年賀状を千枚ほど差し出していたが、数年前からやめてしまった。自筆で書くことが不可能になったし、他人に書いてもらうのは失礼だと思ったからである。百枚位にしぼることも考えたが、人を区別することも困難だ。つまり全廃したわけだから、配達される年賀状も次第に減って完全になくなると考えた。しかし、一部の人は差し出さないので来なくなったが新しい知己も増えて今年も千枚位を載いた。

例外として、幼い子供から来るものにはお返しの年賀はがきを出すことにしているが、ちょっと色マジックでイラストを書く。子供は交換される年賀状を大人よりも心待ちしていると思うからだ。

（義）

今年も安全運転で

昭和五十七年　交通安全年間スローガン

危険です　寝不足積み過ぎ　飛ばし過ぎ

だいじょうぶ　でももう一度　右左

あぶないよ　車が見えない　まがりかど

節分

二月三日は節分。もともと節分というのは、それぞれの季節のわかれ目にありましたが、今日では冬と春の節分行事だけが残っています。これは、季節のこよみでは〝立春〟が〝正月〟にあたるからでしょう。

昔から新しい春には、神が訪れて祝福を与えてくれるという信仰があり、そのため、家に神を迎えるためには〝はらい〟をする必要がありました。邪気を払い幸せを願って〝オニ〟を追い出してしまおうというわけです。

豆まきは中国から伝わり、平安時代の宮中行事が一般に広まったものとされますが、豆まきはどうして〝大豆〟なのでしょうか。大豆には強い生命力があり、この生命力がオニを追い出すという説がありますがどうでしょうか。また大豆を食べると、体がじょうぶになるという言い伝えも、大豆の生命力からきたものでしょう。

二月四日が立春。今年は暖冬で、立春のことばにもあまり違和感がありません。暖冬が盛夏につらなり、実り多い一年であるように大きな声で〝冷害オニ〟を追い出したいものです。

節分

ふるさと歳時記⑪

新春座談会

大年20代 今年はおれたちの年

大切な仲間たちを愛すべきふるさとを育てよう

司会　みなさんあけましておめでとうございます。大年生まれの人は義理にあつく、正直で、〝直言実行〟でどの職場でも将来重い地位につくと言われています。はじめに自己紹介をかねて今の仕事について聞かせてください。

金田　大野台のブロック工場に勤めています。仕事はまだほとんどわからず夢中です。

金田正明さん

松橋　新しくできた大野台電機に勤めています。前の会社を八月でやめて、念願であった自分の町で働くことができました。

成田　農協に入って三年半になります。仕事、仲間とのつき合いなど充実した毎日をおくっています。

福岡　一児の母で、子育てに追われる毎日です。

佐藤　一カ月ほど前から東小学校に勤めています。三年生を担当し子どもといっしょになって勉強したり遊んだりしています。

吉田　農協の中にある農業総合指導センターに勤めて五年になりました。最近、だんだんと仕事が楽しくなってきました。

吉田祐子さん

中島　弥栄で牛を飼っています。〝牛しかない〟という毎日をおくっています。

小田　米内沢病院で栄養士として働いています。年がたつにつれて、自分の仕事の責任の重さを強く感じています。

桜田　自分の家でやっている合川プラスチック産業で働いています。あまり知られていない仕事ですが、農業関係の資材などを製造しています。

山岡　協働社の鷹巣支店で販売の仕事をしています。冬の間は勤務時間の関係で、わびしいアパート住いです。

やりがいのある今の仕事 ―― 山岡
子供といっしょになって ―― 佐藤

柴田　農協に勤めて五年になります。仕事もがんばっていますが、野球、酒飲みでもがんばっています。

司会　職場では、それぞれに責任ある立場のようですね。仕事の中で感ずることも多いと思いますが。

松橋　以前は二交代制の会社におりました。いまだに夜、寝むれなかったりで、体が慣れていません。個人的にも、会社全体のことでも一日でも早く軌道にのせたいと思います。

金田　人のすることを見よう見まねで覚えています。できるだけ現場をまわって覚えるようにしています。人のできることが自分にできないはずはないという気持ちですが、たいへん疲れて家に帰るとグッタリします。

柴田　町内を全部まわるわけですが、おやじと同じ年代の人たちとのふれ合いがとても楽しいです。酒をのんだり、昔話を聞いたり……。

吉田　農家の人たちとの話はとても楽しいですね。年齢層をこえて話し合えるのは幸せです。きゅうりなど新しい分野ができて、また話題が広がって楽しみがふえました。

山岡　上司からしかられたりお客から苦情がきたりで、たいへんです。しかし、今の仕事にやりがいを感じていますね。

山岡耕悦さん

中島　私は牛だけが相手ですが「秋田に中島あり、日本に中島あり」と言われるぐらいの牛をつくりたいと思います。

福岡　一昨年までは子どもを親にあずけて仕事をしていましたが、去年から私が子どもを見ています。子どもを育てることは、本当にたいへんなのですね。以前はあまり感じてなかったのですが……。

佐藤　前に六年生を担当して今は三年生を担当しています。六年生と会うと、おとなと会うようでびっくりします。精神年齢の問題でしょうか。

小田　責任の重さがずっしりと肩にかかってくるような気がするときがあります。理解ある上司に恵まれて、研修などにも時々行かせてもらっており、ありがたいと思っています。

桜田　こっちに来て一年ぐらいしかなりませんが、来て本当によかったと思います。生活には慣れませんが、仲間が多いのが一番ですね。

成田　仕事は忙しいですが、やりがいがあります。やはり、町に多くの仲間がいるということが、仕事のハリになっていますね。

成田公策さん

司会　野球をはじめ仲間との活動がたいへん盛んな年代のようですが、仕事のあいまなどには、どんなすごし方をしていますか。

佐藤　魚つり、スキーが趣味です。忙しくて自分の時間はなかなかありませんが、子どもたちといっしょに気球を飛ばしたり走ったり、けっこう楽しんでいます。

成田　町にはスポーツ仲間が多く、スポーツの活動も盛んで参加する機会も多く、大いに楽しんでいます。

小田　編み物とスキーが好きです。今は車を買いかえたばかりですので、車に夢中です。

山岡　私も車が大好きで、休みには必ずといっていいほどドライブに出かけます。友だちといっしょに十和田湖や田沢湖方面に行くことが多いです。

桜田　野球やスキーが大好きです。町内に設備のあるスキー場がないのが残念です。

今は何でもやってみたい ―― 柴田
みんなと汗をかきながら ―― 金田

中島　牛にかかりきりの毎日ですが、野球が一番のコミニケーションの場です。それとバレーボール。仲間と飲んだりしゃべったりして、発散させることができるから、がんばれるのだと思います。

柴田　仕事では起きられない日でも、野球なら早起きすると言われます。何でもやってみたいと思うけど、サイフがついていきません。（一同笑い）

福岡　子どもがいたずら盛りで、時間のゆとりも心のゆとりもありません。子育ては楽しみですが、たいへんです。

金田　私も野球が好きですので、野球をして汗をかいて、みんなで飲むのが一番楽しい時です。

松橋一幸さん

松橋　会社ができたばかりだし、こっちに来て時間もたっていないので、まだあまり遊び歩くことはありません。町内には同じ年代の人が多いので、これから仲間に入っていきたいと思っています。

吉田　仕事のあいまに青年会やサークルに入っています。一人で編み物をしている時間が大好きです。誰か私の編んだセーターを着てくれる人はいないでしょうか。（笑い）

町長　やはり野球が最大の交流の場になっているようですね。町民体育館ができると、バレーやバスケットも同じぐらい盛んになると思いますので、がんばってください。大野台を利用した歩くスキーも大いにすすめたいスポーツです。

生活に自信をもって ―― 成田
誘致工場で希望の新年 ―― 松橋

司会　結婚の問題がやはり一番の関心事でしょうね。すでに結婚した人もおるようですが、そろそろ真剣に悩む年ごろではないでしょうか。

中島　本当に深刻な悩みです。女性とつきあう時はまず長女かどうかを確かめたりして……。（笑い）

桜田　本当にそうですね。町内には若い人がだいぶいますが、長男、長女がほとんどですからね。二男がもっともどってくればいいですが。私は二男ですからよろしく。

成田　農家の人たちから、農家には嫁にやりたくないという声をよく聞きます。これなことではダメだと思います。自分たちの生活に自信をもたないと…。

小田　将来は長男とか長女とかいうことは関係がなくなると思います。私の次の世代からだと思いますけれど……。

小田久美子さん

吉田　本当に好きになってしまえば、後取りとか言うことにはこだわりません。町の気風もだんだんそうなっていると思います。

福岡　私は長男をムコにもらっています。本当に関係ないですよ。

山岡　それにしてもいい人を見つけたいですね。会社が終わると七時すぎで、今が一番忙しいので、それどころではありませんが、貯金だけはわずかずつですが心がけています。

金田　やはり人が集まるところが少ない気がします。県外からもどんどん人の入ってくるようなものがほしいと思います。

柴田武則さん

柴田　農業委員会などで青年同志の交流の機会をつくっているようですが、もっと参加者と回数をふやしてほしいものです。

松橋　今年は新しい会社で希望ある年をむかえることができました。企業誘致で、若い人がもっとふえるといいですね。

佐藤　その意味では、二、三男むけの住宅を先行的に建築しておくと、帰ってくる人がふえると思いますが。

町長　やはり人口のバランスをとって町を発展させることが最大の課題です。企業誘致や町営住宅の建築などによって二男、二女も出ていかない町づくりをすすめています。

司会　結婚シーズンになるとそのための交際費用もたいへんではないですか。

柴田　まだ結婚の年代ではないので、それほど多くはありません。少し上の年代では結婚式が月に三、四回もあるようです。

小田　この秋には結婚式の案

本当に大切なものを見つめ育てながら ―― 町長

（次頁へ）

（前頁より）

内が多くて、初めて親からお金を借りました。

吉田　つきあいが多い人は、たいへんなようです。公民館や青年会では、会費制の結婚式を呼びかけていますけど……。

町長　こんな時代ですから、生活の全般的な見直しをすすめ本当に大切なものを育てていかないといけません。会費制の結婚式は、必ず守ってほしいものの一つです。

畠山町長

伝えたいたくましい遊び
―桜田

子供中心の生活です
―福岡

司会　ところで、子どもがいる人は一人だけのようですが、今の子どもたちについてどう思いますか。

成田　オレたちの若いころは雪がふっても雨がふっても、暗くなるまで外でしか遊びませんでした。今の子どもたちは、家の中だけのようです。

佐藤　学校が楽しいと言ってなかなか帰りたがらない子どもがいます。「家に帰っても誰もいない」とか言って……。私たちの時も誰もいなかったけれど、みんなで外で遊んでいたように思います。

桜田　カンケリ遊びなど、年上の人から知らず知らずのうちに教えられた遊びがありました。今の子どもに教えたいものです。

金田　あきカン、石ころ、電信柱など、なんでも利用して遊びを考えたのですが、今の子どもは、工夫する遊びがないのではないですか。ひざっ小僧から血を流すことはしょっ中でした。

松橋　遊び道具は、ほとんど自分たちでつくりましたね。つくることがたいへん楽しかったと覚えています。

中島　過保護というか、箱の中に入れて育てているようで、かわいそうです。もっとのびのびと育てたいと思います。自動車がふえて、私たちの時のようにはいかないと思いますが。

山岡　店にきても、子どものわがままを通して、すぐに買ってやる親を見かけます。ありがたいですが、もっと良い買い物をしてほしいと思うこともあります。

福岡　家族全体がどうしても子ども中心になってしまいます。過保護かなと思っても、どうしても〝大切にしたい〟という考えが先にたちます。

福岡千春さん

町長　幼児期のある段階までは、できる限りめんどうを見てあげなければいけないと思います。ただ、ある時期からは、子どもをつき離して育てることのほうが大切になります。そうでないと、あとで親のほうが子どもからつき離されてしまう。そんな例がよく見られます。

司会　皆さんに子どもが生まれ、たくましく育つ日が楽しみですね。今度は皆さんの〝おやじ像〟〝おふくろ像〟についてききたいと思います。父親にしかられるということはあるものですか。

中島　おやじは経験をもとに話しをし、私は勉強したことをもとにして話をしますから、口論になることもあります。結局実績で表れるので、お互いに納得します。

桜田英貴さん

桜田　主に仕事の話ですが、両親との会話は多く、コミュニケーションはいい家庭だと思っています。

金田　家族との会話は多いほうだと思います。とにかく、おやじから聞かないと仕事になりませんから。

小田　私もある程度はオトナのつもりですので、できるだけ家庭のふん囲気を明るくするように心がけています。お父さんの気げんが悪いような時は、特に明るい話題をさがすようにしています。

吉田　何もしゃべらないでボソボソと食事をすると、とても暗い気持ちになります。できるだけ話しかけるように心がけています。

柴田　私は夕食のあとは自分の時間にして、部屋に閉じこもりますので、会話は少ないほうかもしれません。食事中はいっしょに晩酌をしたりして話しをしますが。

松橋　おやじとの会話は少ないですね。その分、おふくろとの会話は多いので、コミニケーションは良くいっていると思います。

佐藤　おやじと職業が同じですので、仕事の話しはよく聞きます。あとは、ストーブを消さないとか、電気を消さないとか、けっこううるさいですね（笑い）。

佐藤昭洋さん

町長　同じ職業についている人は、親にはやはり経験からくる自信がありますから強いでしょう。

山岡　おやじたちは〝がんばっているんだなあ〟と尊敬させられます。なるべく世話にならないようにしていますが……。

司会　それでは、新年らしい皆さんの町づくりへの夢を語ってください。みなさんが町長になったつもりで、デッカイ夢を出してほしいと思います。

松橋　町に帰ってきて本当に落ちついた気持ちです。やはり生まれたところで生活をするのが最高なんだと実感しています。もっと仲間をふやすために企業を誘致してほしいものです。

将来は農業をやりたい
―吉田

とっても好きな私の町
―小田

金田　大野台にいると、広大で本当にもったいない気がします。合川の人は人柄も良く、優秀な人材もたくさん町外に出ていっています。人材を町内にとどめておくことが、町の発展につながるのではないでしょうか。

成田　合川中学校の卒業者は一人も町から出ていかない。みんなで町を盛り上げていったらすばらしいと思います。そのためには働く場所が必要です。

柴田　県外からも人が集まってくるような観光地をめざして大野球場やスタジアムの建設を夢に描いています。

佐藤　私は観光開発はきらいです。人が去ったあとの観光地ほどさびしいものはありませんから。町内の人が楽しめるほどの観光地であればいいと思います。町づくりでは、将来的な展望に立った道路整備と町内資本による公害のない企業育成が必要だと思います。

福岡　道路の整備には力を入れてほしいですね。それと、小さい道路で除雪に苦労しているので、何とかならないでしょうか。

山岡　道路が良ければ冬でも通えます。バイパスがぜひ必要です。それと、小阿仁川の洪水対策にも力を入れてほしいと思います。

吉田　ハイランドにテニスコートやフィールドアスレチックス（冒険コース）をつくりたいですね。二男、二女を残すような職場開発も必要ですが、去年、山ごぼうを栽培してみて〝農業はすばらしい〟と感じました。将来は、ぜひ農業をやりたいと考えています。

中島　生産のあがる農業を町全体に広める必要があります。そのためには、指導陣を充実することです。きゅうりにしても何にしても、まだまだ伸ばせると思います。それとほっとスポーツの活発な町にしたいものです。多くの町民が参加できるようにするために、町民体育館の建設に期待しています。

中島萬平さん

小田　町に女子のバスケットチームをつくりたいと思っています。町内リーグ戦で優勝して二級酒を一升もらいましたが、女子チームですから、ワインぐらいはほしかった……。（笑い）

桜田　誘致企業と結びついて、町内の家庭や事業所で生産できるものがあれば、理想的ではないでしょうか。それと、町の基本は農業だと思うので、ハウス園芸などの、高度な農業にむかっていく必要があると思います。

町長　一番関心の高いのは、やはり大野台開発。それと農業と道路のようです。約五千ヘクタールの大野台で工業用地は五十ヘクタール。大野台開発は町内産業の育成と、自然との調和を充分に考えて、計画的に行っています。また大野台地内五百ヘクタールに国営農業開発を導入し、それを核に、町内農業が育成できる構想です。道路はバイパスの整備がすすめられており、国道を町内に通すことも運動しています。

司会　どうでしょう。その他に町に必要なもの、大きな夢を語って下さい。

町長　昨年、大野台に桜を植えました。これが咲くと、おそらく日本一の桜並木でしょうから、日本中から人が集まってきます。そうしたら、中島くんの牛をつぶしてステーキにして売れます。いろいろなことを考えながら、一人一人が「自分の町は自分たちの手でつくり変えることができる」という気になったら、すばらしい町ができます。

小田　私はハイランドが大好きです。親子づれで遊んでいる姿などを見ると、とても幸せな気持ちになります。企業誘致が町の産業と調和がとれた形ですすんでおり、理想的な町づくりが実現しつつあるという気がします。

山岡　私も合川町はまとまりがあって好きな町です。

農業にとり組む仲間を
―中島

地域の連帯の中心になって
―教育長

中島　他町にも自慢ができる町づくりがすすめられていると思います。ハイランドや工業団地など……。ただ、農業面では真剣に農業に取り組む仲間がもっとほしいものです。

成田　合川の特産物というものが確立できればと思います。

金田　阿仁合線が廃止されると、影響が大きいと思うのですが？

桜田　将来は共かせぎ世帯がふえると思うので、ゼロ歳児の保育施設が必要だと思います。

司会　幅広く提言が出されましたが、町長にまとめをお願いします。

司会
木村教育長

町長　みなさんの発言から、仲間を大切にし、ふるさとを大切にするという強い意欲を感じました。合川の〝仲間〟世界の〝仲間〟を大切にする心から町づくりの展望が開けてくるはずです。どうか〝仲間〟を愛し、地域を育てていただきたいと念願します。

司会　みなさん、長時間どうもありがとうございました。地域の連帯の中心になってがんばってください。みなさんの健康と活躍を期待します。

おしらせコーナー

町のこよみ

一月

24日　合川町の教育を語る会
31日　青年婦人議会

二月

3日　節分
4日　立春
6日　ろばた講座
27日　第一回大野台雪まつり
28日　歩くスキーの集い

町立保育園で新入園児募集

町立の四保育園では、四月からの入園希望者を次のとおり受け付けします。

申込期間　一月十六日から二月六日まで。

申込先　東保育園
☎二三〇九　定員百三十名
西保育園
☎二二七九　定員　六十名
南保育園
☎三四四二　定員　六十名
北保育園
☎二〇三四　定員　六十名

以上各保育園と役場福祉課に申込用紙があります。

くわしくは、各保育園または役場福祉課におたずねください。

募集　福祉の町標語

町社会福祉協議会では〝福祉の町づくり標語〟を募集しています。社会福祉宣言の町にふさわしい児童の皆さんの多くの応募をお願いします。

▽テーマ〝みんなで育てよう「住みよく明るい福祉の町づくり」〟
▽応募期日　一月三十一日
▽応募対象者　町内各小学校児童

年金　二十歳になったら国民年金

成人を迎えられた皆さん、おめでとうございます。二十歳になると、[illegible]が[illegible]つです。

国民年金には農業・商工業者などの当然加入することになっている人と、サラリーマンの奥さんなど、希望によって加入する人がいます。

年金をもらうのは、まだまだ先のように思えますが、加入を忘れるとたいへんソンをすることになります。忘れずに加入しましょう。

▽外国人の方も国民年金
昭和五十七年から外国人の方も国民年金に加入することになりました。

年金についてのお問い合わせ相談は、役場福祉課年金係に気軽におよせください。

ご存知ですか　児童扶養手当制度

この制度は離婚、死亡、廃疾など何らかの事情によって父親と生計を同じにしていない子どもや、障害児を育てている人の生活の安定を図るために設けられている制度です。

①児童扶養手当
請求者＝母ならびに養育者
対象児童＝十八歳未満の児童
二十歳未満の障害者

②特別児童扶養手当
請求者＝障害児を監護または養育している人
対象児童＝二十歳未満の障害者

どちらも所得制限などの条件があります。くわしくは役場福祉課におたずねください。

青春づくりに国の進学ローンを

大切な子どもの進学。気がかりですね。高校、大学などに進学される人のために〝国の進学ローン〟があります。

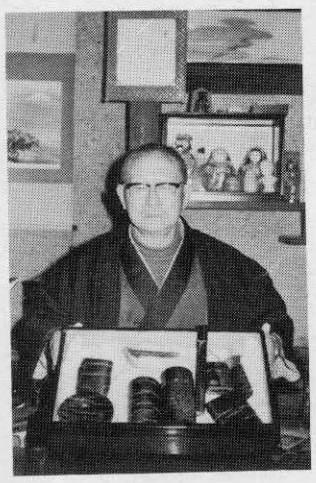
融資は一世帯あたり五十万円まで。申し込みは四月までですが、受験校が決まったら、早目に農協・金融機関窓口で相談ください。

タバコは町内で買いましょう
タバコ消費税は貴重な町の財源です。

わが家のわたしの宝もの ⑨

伝承の樺細工 ぜひ後継者を

「鎌の沢の樺細工と増沢の猿倉人形を何とか残してほしいものだと思います。」―秋田県の特産物となっている樺細工は、御所野家の先祖がこの地方に伝えたのが始まりとされています。「戦国末期、京都地方の修験者が修験地房住山（琴丘町）に入り、鎌沢に住みつき、神職と正法院の住職をかねていたという記録があります。」樺細工は御所野家の秘技として〝代々、必ず伝えること〟と書き残されてきました。しかし現在、鎌沢でこの技術を受け継いでいるのは御所野忠さん（70歳）ただ一人。忠さんも昨年から製作をほとんど止めています。樺細工は〝角館のもの〟になってしまいました。



鎌　沢
御所野長三郎さん

「佐竹藩が藩の産業として、鎌沢樺細工を角館に伝えました。角館は武家が多かったことから定着し発達したものでしょう。鎌沢は片手間仕事で、商業的な感覚がなかったので自然とすたれてしまいました。」それでも長三郎さんは「やはり鎌沢の樺細工が本物です。材料も造りも、りっぱでじょうぶです。」と後継者がいないことを残念がります。「戦後の高度経済成長の中で、なくしてはならないものをいっぱいなくしましたが、樺細工もその一つだと思います。」

長三郎さんは70歳。郷土史の研究に情熱をかたむけています。「鎌沢にきた修験者というのは実は、どこかのスパイ＝隠密ではなかったでしょうか。隠密の生活手段の一つとして樺細工を学んできたような気がします。他の民芸品には、よくある例です。」「子どもたちに伝えなくてはならないものを、しっかり伝えることが年寄りの仕事です。」

鎌沢樺細工は県立博物館や町森林展示館におさめられ関心を集めています。

ろばたに集おう ろばたで語ろう

〝ろばた講座、女性や青年もどうぞ〟

〝ろばた講座〟が始まりました。この講座は働き盛りの人たちの語らいと学習の場として始められたもので、今年で三年目。今年は男性中心の講座から、女性、青年にも対象を広げて参加を呼びかけています。

内容は、講話、話し合い、移動研修などで、参加者が自由に企画して〝楽しみながらの学習〟を計画しています。内容も幅広く〝誰もが親しめる〟講座が、毎回、参加者の好評を集めてきました。

これからの講座計画は次のとおりです。

二月六日　講話『景観と文化』

当町の歴史にもくわしい県立博物館学芸課長木崎和広氏のお話です。

二月二十日　講話『稲の神々』

農業を実践し文化を語る営農大学校副校長　鈴木元彦氏のお話はテレビでもおなじみです。

三月十三日　講話『家庭における父親の役割』

多くの課題をかかえる家庭教育で父親の役割は特に重要だと言われています。岩館小学校長千葉保一氏のお話。

五月二十九日『町政を考えよう』

移動研修と話し合い交流です。

どの講座も、講話のあとに意見交換があります。開始時間は午後一時半から。家族で誘い合って、ぜひ参加ください。

気軽な内容が親しまれています。
（昨年の講座風景）

今月のことば

母と子の会話

あいさつ　心と形の両面から しつけを

人と人との出会い――人間関係は、まず「あいさつ」から始まると言ってよいでしょう。

あいさつは、人間関係をスムーズにする手段であると同時に、礼儀の基本となるものです。幼いうちから、あいさつ・きちんとできるようにしつけをしたいものですね。

あいさつとか礼儀というと、なにか形式ばった感じもしますが、本来は、相手に対する〝心の表れ〟であり、それが一定の形になったもの――と言うことができます。

ですから、あいさつについてのしつけは、まず、相手に対する心――気持ち――を大切にし、その表現としてある決まった形があることを教えるようにしたいものです。

ところで、幼児期の子供をとりまく人間関係は、両親をはじめ、祖父母、親類縁者など年長者との交わりがほとんどです。当然、年長者に対するあいさつが、しつけの中心になります。

一方、保育園、幼稚園、学校などへ通うようになると、友達同士の付き合いが増えてきます。いわゆる〝ヨコの関係〟が生じてくるわけですが、あいさつのマナーも、年長者に対する場合とは当然異なります。

「おはよう」と「おはようございます」の区別など、相手が年長者か友達かによって、あいさつする時の表現や態度に違いのあることも分からせるようにしたいものです。

とは言え、相手がどのような人であれ、その存在を認める気持ちの表れという点では、あいさつする〝心〟に違いのあろうはずがありません。

あいさつは、言うなれば、社会生活への〝パスポート〟です。子供には、心と形の両面から、あいさつのマナーを身につけさせたいものです。

これまでと同じく、これからも明日の虹にむかって一歩一歩歩んでいきたいと思います。私の人生にもきっと、いつか虹が出てくれるものと信じて……。

新成人の記念作文、大野台グリーンハウス　戸沢聖子さんの作品から

図書だより ⑬

おたずねに答えて

読み聞かせがへたですが？

質問　よく読んで聞かせることが大切だと言われますが、読み方がへたで心配です。レコードなどもあるそうですが？

助言　親が子どもに本を読んであげる時は、技術は必要ありません。ごくあたりまえに、すなおに、ゆっくり、飾り気なく読んであげればいいのです。意識的に抑揚をつけたり動作をつけたりする必要はありません。子どもたちが絵本を楽しめるかどうかは、物語の中でじゅうぶん遊べるかどうかにかかっています。つまり〝物語を追っていく〟ということで抑揚や動作は、かえって邪魔になることさえあるのです。

また、物語は肉声で語られるべきです。親の気持ちが物語を通して子どもの心に伝わり、子どもは親の肉声を通して物語の心にふれます。子どもたちはレコードの声を数回聞くと、あきてしまいます。子どもにとって親ほど良い読み手はいないということを、子どものために理解してあげましょう（図書室から）

図書室

一冊の本

まいにちの絵本
絵　砂川しげひさ
編　星の環会

「活発は児童の天性なり。」＝これは明治十六年に書かれた『改正教授術』という本の巻頭にある教育の父といわれるペスタロッチのことばです。この児童の活発さと〝しつけ（躾）〟とは、一見、相反することばのように思えます。この本はこの〝活発さ〟と〝しつけ〟を科学的にわかりやすく一致させようというねらいで編集されたものです。

生き生きとし動き回る絵の中に〝してはいけないこと〟が子どもの世界で描かれています。多くの言葉よりも、この本のひとつひとつの絵が子どもたちに語りかけるものの方が大きいことでしょう。保育園入園前後の子どもたちと一緒に読みたい一冊です。

佐藤庫吉氏（町議会議員）

去る一月二日、不慮の病気により急逝されました。

氏は昭和三十四年から家業に専念され、あわせて合川町建設業協会長、合川町森林組合理事、合川町商工会理事、小中学校PTA会長、合川町農業協同組合理事などの要職にあたられ、昭和五十五年[illegible]町議会議員として[illegible]ますが、国民年金もその[illegible]

なお、葬[illegible]寺で営まれました[illegible]

新田目婦人会でエコーハイツ慰問

新田目婦人会（会長鈴木昭子さん）ではキリタンポをおみやげにエコーハイツを訪問。歌や踊りの交流会を行い、たいへん喜ばれました。

善意のご寄付

（敬称略）

〔香典返しにかえて〕
木村広勝　弥栄（故長男家衛造）
佐藤喜一　東根田（故　妻　キミ）
小野勝信　木戸石（故　父　佐市郎）

〔一般寄付〕
工藤イマ　上杉

〔広報郵送料として〕
仙台市中山5　疋田栄一
横浜市金沢区　桜田芳之助

慶弔だより　12月届

○おめでとうございます

佐藤健一　正一郎長男　川井
近藤　恵　弘光長女　梅栄
桜井ひとみ　鉄男三女　下杉
後藤裕哉　克彦長男　下杉
三浦佳澄　克昭三女　三木田
桜田雄大　義信長男　李岱
松橋宏美　昇　長女　道城
小林聖史　茂勝二男　新田目
桜田博貴　博美長男　東根田

●おくやみ申し上げます

桜庭シモ87弘　祖母　駅前
木村家衛造29広勝長男　弥栄
佐藤キミ51喜一妻　東根田
小野佐市郎52　本人　木戸石